

公開シンポジウム

昆虫類をめぐる外来生物問題と対策

2016年 3月 29日 火

14:00 ~ 18:00

大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス
Uホール白鷺

参加費：無料 (事前申し込みも必要ありません)



アルゼンチンアリ*



シロツメクサに訪花する
セイヨウオオマルハナバチ*



東南アジア産 × 日本産ヒラタウガタ
交雑雑種 1代のおス*



ギラファノコギリ**

● 開会

14:00

● 活動報告

14:05~14:15

日本学術会議応用昆虫学分科会の活動報告

嶋田 透 (日本学術会議会員、東京大学)

14:15~14:25

日本昆虫科学連合活動報告

多田内 修 (日本昆虫科学連合代表、日本学術会議連携会員、九州大学)

● 講演

座長：石井 実 (大阪府立大学)

14:25~14:35

趣旨説明

石井 実 (大阪府立大学)

14:35~15:00

日本の外来昆虫相の特徴 北米およびハワイと比較して

森本 信生 (農業・食品産業技術総合研究機構 畜産草地研究所)

15:00~15:25

外来マルハナバチ類の生態系影響と対策

五箇 公一 (国立環境研究所)

15:25~15:50

在来昆虫類が駆動する繁殖干渉と外来種問題

高倉 耕一 (滋賀県立大学)

<休憩>

16:05~16:30

ペット甲虫類における外来種問題~意図的導入の罪過とその贖罪~

○荒谷 邦雄・細谷忠嗣 (九州大学)

16:30~16:55

特定外来生物アルゼンチンアリの根絶までの道のり

坂本 佳子 (国立環境研究所)

16:55~17:20

小笠原における固有昆虫保全のための外来種対策

○戸田 光彦・秋田 耕佑・高橋 洋生 (自然環境研究センター)

● 総合討論

17:20~18:00

● 会場への交通案内：

- ・南海高野線「白鷺駅」下車、南西へ約 500m、徒歩約 6分。
- ・南海高野線「中百舌鳥駅」下車、南東へ約 1,000m、徒歩約 13分。
- ・地下鉄御堂筋線「なかもず駅 (5号出口)」から南東へ約 1,000m、徒歩約 13分。
- ・南海高野線「中百舌鳥駅」・地下鉄御堂筋線「なかもず駅」から南海バス (北野田駅前行 31、32、32-1 系統) で約 5分、「府立大学前」下車。
- ・南海本線「堺駅」から南海バス (北野田駅前行 31、32、32-1 系統) で約 24分、JR 阪和線・南海高野線「三国ヶ丘駅」から南海バス (北野田駅前行 31、32、32-1 系統) で約 14分、「府立大学前」下車。

● 問い合わせ先：

日本昆虫科学連合事務局 阿部 芳久 (九州大学大学院比較文化研究院・生物多様性)
Tel: 092-802-5648 E-mail: sympo2016@insect-sciences.jp
www.insect-sciences.jp

● 主催：

日本昆虫科学連合・日本学術会議農学委員会応用昆虫学分科会・
日本昆虫学会・日本応用動物昆虫学会